

深圳小学教育交流訪問團報生日

11月14日(水)～18日(日)、野々市からの教育交流訪問団が中国深圳小学を訪問しました。この交流は昭和60年に野々市小学校と深圳小学が友好関係を結んだことをきっかけに始まり、以来、毎年相互に訪問を行っています。

今年の訪問団は野々市、御園、菅原小学校の児童12人と引率9人で、授業交流やホームステイなどを通じて友好を深めました。



歡迎式典

15日(木)、深圳小学で歓迎式典が行われ、深圳小学の児童ら1700人が日本からの訪問団を迎える。

式典では野々市小学校の橋本京香さんがあいさつし、児童が夏休み中から練習を重ねてきた合唱やリコーダー演奏、よさこいソーランを披露。深川小学校の児童らの歌と踊りが

深堀小学の児童も息の合った踊りで、楽器演奏で訪問団を歓迎しました。

授業交流

深圳小学では授業交流を実施し、図工や体育、音楽の授業を体験。チャイナドレスのデザインを考えたり、バドミントンのシャトルを使つたキャッチボールなどの活動を通して中国の文化を学びました。また、深 圳小学の児童との友情を育むことができ、貴重な体験となりました。



ホームステイ

深圳での2泊3日の滞在中、児童はホームステイを行い、それぞれのホームステイ先で中国の暮らしを体験しました。身振りや手振りでも意思の疎通を行い、言葉の壁を越えて



2次元バーコード